

一般社団法人アップサイクル

異業種連携で初プロジェクト

廃棄紙、間伐材原料の紙系開発

日清紡グループのニッシントーア・岩尾、ネスレ日本、凸版印刷をはじめとする14の企業や団体が構成する「一般社団法人アップサイクル」(大阪

市中央区)は2日、紙資源や間伐材をアップサイクルした紙系「ツムギ」を第1弾プロジェクトとして立ち上げ、都内で発表会を開催した。今後、加盟社が連携してアップサイクル製品などへの展開を図っていく。

代表理事には、ニッシントーア・岩尾の森原洋テキスタイル部長が就任。発表会では「異業種連携でそれぞれのリソースや販路を可視化することで、さまざまな取り組みが可能になる」とあいさつした。

同日14の企業、団体が参画して設立した。ニッシントーア・岩尾とネスレ日本は、これまでも衣服のアップサイクルプロジェクトなどで協業しており、その活動をより発展的に展開するため、異業種企業や団体に呼

び掛けたことがきっかけ。原料は、工場で製造時に規格外として廃棄対象になる紙資源や、六甲山の間伐材を活用。パルプ化した原料とパーシンプルプを使いスリットテープにし、加盟社でもある備後燃系(広島県福山市)でコットンと撚糸する。同工程で生産したプロトタイプ品では、抽出後の

術の供給▽艶金▽食品残渣で染める「のこり染め」の供給▽ZERO▽アップサイクル製品の販売▽特定非営利活動法人インクルーシヴ・ジャパン▽アップサイクル製品のデザイン供給▽宗教法人車折神社▽奉納後の玉垣の供給▽備後燃系▽撚糸技術の供給▽加賀友禅毎田染画工芸▽友禅染めの技術供給



発表会に出席した森原代表理事(左から3人目)ら

日に14の企業、団体が参画して設立した。ニッシントーア・岩尾とネスレ日本は、これまでも衣服のアップサイクルプロジェクトなどで協業しており、その活動をより発展的に展開するため、異業種企業や団体に呼

コーヒー残渣を染料とする「のこり染め」を艶金(岐阜県大垣市)で行っている。

参画企業・団体と、今後の予定を含む取り組み内容は次の通り▽ニッシントーア・岩尾▽繊維産業技術や知見の供給▽ネスレ日本▽製品パッケージやコーヒー残渣の供給▽凸版印刷▽紙資源や加工技術の供給▽シーエヌ

シー▽コーヒー残渣供給やアップサイクル製品販売▽日本ロレアル▽化粧品や紙資源、オフィスで飲用したコーヒー残渣の供給▽メットライフ生命保険▽「メットライフ生命の森」の除伐材や紙資源等の供給▽神戸市役所の実施や東京圏での情報発信▽SHAREWOO D.S. ▽間伐材や加工技術の供給▽艶金▽食品残渣で染める「のこり染め」の供給▽ZERO▽アップサイクル製品の販売▽特定非営利活動法人インクルーシヴ・ジャパン▽アップサイクル製品のデザイン供給▽宗教法人車折神社▽奉納後の玉垣の供給▽備後燃系▽撚糸技術の供給▽加賀友禅毎田染画工芸▽友禅染めの技術供給